

竹の子 だより

第141号 令和7年10月25日(土)発行
発行責任者 晝場 浩司
編集 明星会本部
発行 社会福祉法人 明星会

【住所】〒250-0052
神奈川県小田原市府川752-5
【TEL】0465-32-7740
【FAX】0465-32-7741

明星会HP



竹の子学園

竹の子学園
7/26 夏祭り



明星会 事業所紹介 放課後等デイサービスぽっぷ



活動プログラム

放課後（学校のある日）

- ① 学校迎え
- ② 荷物整理・トイレ
- ③ フリータイムなど
（絵・音楽・ダンスなど）
- ④ おやつ（事業所で用意）
- ⑤ 各プログラム
（宿題・創作・運動など）
- ⑥ 帰りの会
- ⑦ 送り・保護者迎え



創作活動

何ができるかな？



新聞ちぎり大会

皆でちぎる楽しさ（笑）



運動タイム

手を繋いでスクワット中



ペットボトル分別

作業体験もやります！
SDGsも完璧！



みんな大好き実験

バニラアイスの食べ比べをしました！



給食タイム

みんなと一緒に食べてます。

対象となる子ども 小学1年生から高校3年生

定員 10名

対象地域 南足柄市・小田原市・開成町・大井町
松田町（一部）・山北町（一部）

サービス時間 放課後→11:00～18:00
土・祝→9:00～15:30
（長期休み期間は給食の提供あり）

ぽっぷが特に大切にしている 基本方針

- ＊ 子どもと家庭と学校との関係を大事にし、「なにを大切にしてお過ごししていくか」を一緒に考えながらサービスを提供します。
- ＊ 遊びを通して身体と心の発達を促し、一人ひとりに無理のない計画を立てます。
- ＊ 子どもの気持ちを大切に、心が温まる関わりをします。



レクリエーション

子どもたちのやりたい意見を取り入れてレクリエーションを考えています。



ボウリングを
やろう！



公園で
遊ぼう！



海に
行こう！



竹の子学園

夏の思い出

8/25 そうめん & 流しお菓子

7/26 デコレーションアイス

バニラアイスにソースやトッピングを選んで、オリジナルアイスを作りました。

8/7 桃を食べよう!

そうめんのかわりにお菓子を流してキャッチ!!



甘〜い桃をぱくり!

竹の子ケアセンター アウトドア[峯自然園]

9/11

あっつい!

9/17

まずは火おこしからだね!



まずは買い出しから



焼きマシュマロ好き♡



仲良く焼いています!



自分の作ったやきそばは美味しいね!



火の管理も大事!



片付けもしっかり頑張ってますよ!!

放課後等デイサービスぽっぷ

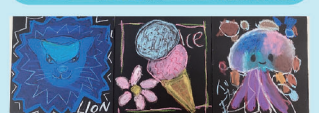
8/16 チョークアート体験

8/2 お菓子を作ろう

沢山の見本の中から好きな物を選んで集中して書いています!

かき氷のシロップ何にしようかな?

出て来た〜! 大きいの作るぞ!!



ありがとう善意の気持ち



- ◆株式会社あしがら清流の郷 様より
じゃがいも
- ◆小川 博 様より
オクラ
- ◆小田原市
社会福祉協議会 様より
キュウリ・なす・ピーマン



赤い羽根共同募金 食糧支援

「令和六年度赤い羽根ポストコロナ社会に向けた福祉活動応援助成」の配分金を活用して、パン工房ハッピー（法人事業所）のパンやお菓子を子どもの学習支援・居場所づくり事業で参加した児童に提供しました。

「ふわふわで美味しい！」と子どもたちに好評、チョココロネは一番人気です。

赤い羽根共同募金運動

十月三日、小田原駅にてパン工房ハッピーの利用者様と募金運動を行いました。



「募金お願いします」の元気な声に、多くの方が募金をしてくださいました。

お知らせ

道路拡張工事の為、八月三十一日に竹の子ホーム沼田荘を閉鎖しました。

法人内研修



8月6日 新任職員研修

8月23日 職員全体研修 ～障害福祉サービスについて～



今回の法人全体研修は、障害支援区分認定調査員で、当法人の評議員でもあります瀬戸浩様を講師にお迎えし、「障害福祉サービスについて」という題目で障害福祉サービスの概要・受給者証の役割や仕組み・認定調査の対応方法等について講義をしていただきました。講義後、質疑応答の時間を三十分設けましたが、職員からの質問が多く、時間内に質問できなかったという職員もありました。参加者が興味を持ち、理解を深めようとする姿勢が受け取れ、大変実りのある研修にすることができたと感じています。

9月27日 障害者権利擁護研修

虐待防止委員会主催研修で、書場総合施設長から「障害者虐待と身体拘束の成り立ちと経過」「他施設での過去の虐待事例」についての講義と、明星会で起きた過去の事例を基にグループワークを行いました。

様々な職種の立場から、自分だったらどのような声掛けや支援ができたのかなど、意見交換をしました。

一番印象的だったのは、「虐待に気付けないのがいけないのではなく、周りに相談できないからこそ虐待に繋がってしまう、周りに相談できる環境作りが必要ではないか」という意見でした。

この研修を通じて、これからもご利用者様の権利を守るために「いつでも職員間で相談できる環境づくり」を進めていきます。

10月16日 階層別研修 ～リーダーシップについて考える～

新職員紹介

竹の子学園 原口 麻衣



竹の子学園に関わる全ての方々が「今日も良い日だった」と思えるよう、笑顔を忘れずに日々精進してまいります。

竹の子学園 西山 由樹



お世話になります。前職は老人ホームで勤務しておりました。一生懸命頑張りました。宜しく願ひ致します。

竹の子ケアセンター 牧島 小百合



この度、栄養士として入職しました。まだまだ不慣れな点が多く、皆様にはご迷惑を掛けることもあるかと思いますが、宜しく願ひ致します。

竹の子ケアセンター 小松崎雅子（非常勤職員）

パン工房ハッピー 諸星 京子（非常勤職員）

レタッチ南足柄 本間三恵子（非常勤職員）

退職職員

竹の子ホーム 初山 由里

竹の子ケアセンター 森 貞巳（非常勤職員）

熊澤 敏明（非常勤職員）